

平成 23 年 6 月 27 日

各位

住友大阪セメント株式会社

### 栃木工場生産セメントの放射線量および放射能濃度測定結果について

標記の件、6月17日付で弊社ホームページに同工場生産のセメントの放射線量および放射能濃度の測定結果を開示しておりますが、その後判明したデータに関しましてお知らせいたします。

放射能濃度につきましては、引き続き第三者機関において測定を行っておりますが、その測定結果は5月12日に国土交通省が公表した原子力災害対策本部からの考え方の内容に則していることを確認しております。

また、放射線量につきましては、すべて大気中の放射線量と同程度の結果となっております。なお、詳しい測定結果につきましては別途放射線量測定結果のページにてご確認ください。

また、下水汚泥等の受入再開につきましては、各自治体等排出元の放射能濃度管理体制について弊社との間で確認ができ、かつ測定の結果、放射能が検出されなかった施設からの受入を再開いたしました。

栃木工場で生産するセメント製品につきましては、5月12日ならびに6月16日国土交通省公表の考え方を基に管理し、製品の安全性の確認を継続してまいりますので、引き続き安心して弊社製品をご使用いただきますようお願い申し上げます。

### 放射能濃度測定結果

		放射能濃度 (Bq/kg)			合計
		Cs-134	Cs-137	I-131	
普通 セメント	6月上旬生産品	30.9	37.1	不検出	68.0
	6月中旬生産品	24.3	29.0	不検出	53.3
高炉 セメント	6月上旬生産品	28.6	35.3	不検出	55.9
	6月中旬生産品	32.5	40.0	不検出	72.5
早強 セメント	6月上旬生産品	27.0	32.0	不検出	59.0
	6月中旬生産品	24.0	24.5	不検出	48.5

注1) 上旬：1日～10日、中旬：11日～20日、下旬：21日～31日

注2) 測定機関：日立協和エンジニアリング㈱

注3) 5月以前の測定結果につきましては、6月17日のホームページ掲載データをご覧ください

以上